

Japanese Unexamined Utility Model Application, Publication No. H05-39258

Date of Publication: May 28, 1993

Applicant: YAMAHISA CO., LTD

Inventor: YAMADA, Hirohisa

[0001]

[Industrial Applicability]

This device relates to a sheet placed in a toilet for pets, particularly a sheet that has high deodorizing efficacy.

[0005]

Under these circumstances, the problem to be solved by this device is to improve this type of sheet so as to further enhance deodorizing effects.

[0006]

[Means for Solving the Problems]

In order to solve the aforementioned problem, the sheet according to this device is made such that a plurality of superimposed water-absorbing sheets are sandwiched between a water permeable sheet and a waterproof sheet, and between the water-absorbing sheets are sandwiched a deodorizer, a water-absorbing polymer, and a fragrant material which reacts with liquid to emit a fragrant odor.

[0015]

Please note that, as long as the Flat Bag 10 has a water-absorbing property at the upper surface thereof and a waterproof property at the lower surface thereof, the Flat Bag 10 does not necessarily have to be the Unwoven Cloth 11 and the Synthetic Resin Sheet 12.

In addition, as the water-absorbing polymer, it is possible to appropriately select and use, for example, a starch type polymer in which an acrylic acid is graft polymerized with starch, an acrylic-acid vinyl alcohol copolymer which is a cellulose type thereof and in which another acrylic acid salt is graft polymerized with carboxycellulose, or a synthetic polymer such as acrylic acid polymer.

(19)日本特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-39258

(43)公開日 平成5年(1993)5月28日

(51)Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 0 1 K 23/00	C	9123-2B		
1/015	B	6852-2B		
1/035	D	6852-2B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

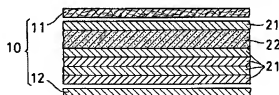
(21)出願番号	実願平3-89708	(71)出願人	591009255 株式会社ヤマヒサ 大阪府大阪市北区万歳町3番25号
(22)出願日	平成3年(1991)10月31日	(72)考案者	山田 博久 西宮市上ヶ原十番町1番11号
		(74)代理人	弁理士 鎌田 文二 (外2名)

(54)【考案の名称】 ペットのトイレ用シート

(57)【要約】

【目的】 ペットのトイレ用シートを改良して防臭効果を高める。

【構成】 上面が不織布11、下面が合成樹脂シート12によって形成された平袋10と、この平袋10内に収容される5層状の吸水紙21とから成る。吸水紙21には、第1層と第2層との間に水を吸収してゲル化する吸水性高分子23、脱臭剤24および水溶性で液体に反応して芳香臭を発散する香料25が混合された保水層22が挟み込まれている。従って、脱臭剤24により処理しきれなかった悪臭が、尿に反応した香料25から発散される芳香臭によって消臭される。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 透水性シートと防水性シートとの間に複数枚重ね合わせた吸水紙を挟み込み、この吸水紙間に脱臭剤、吸水性高分子および液体と反応して芳香臭を発する香料を挟み込んだベットのトイレ用シート。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係る一実施例を示す断面図

【図2】 同上の斜視図

【図3】 保水層を模式的に表わした図

【図4】 香料を模式的に表わした図

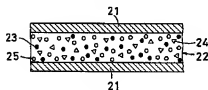
* 【符号の説明】

- 10 平袋
11 不織布
12 合成樹脂シート
21 吸水紙
22 保水層
23 吸水性高分子
24 脱臭剤
25 香料
*10 25a マイクロカプセル

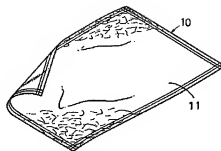
【図1】



【図3】



【図2】



【図4】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案はペットのトイレに敷くシート、特に防臭効果の高いシートに関する。

【0002】**【従来の技術と考案の課題】**

この種のシートとしては、脱臭剤および吸水性高分子を吸水紙間に挟み込み、この吸水紙を、上面が不織布、下面が合成樹脂シートから成る袋内に収容したものがあ

【0003】

このシートの上にペットが尿をした場合、不織布から透過した尿は、吸水紙に吸水されると共に吸水性高分子が吸収してゲル化し、固定される。また、同時に脱臭剤によってアンモニア臭等の悪臭が除去される。

【0004】

しかし、脱臭剤だけで悪臭を完全に除去することは不可能であり、除去しきれなかった悪臭が室内に漂よって不快感を味うのは否めない。

【0005】

そこで、この考案の課題は、この種のシートを改良して、さらに防臭効果を高めることにある。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

上記の課題を解決するため、この考案のシートは、透水性シートと防水性シートとの間に複数枚重ね合わせた吸水紙を挟み込み、この吸水紙間に脱臭剤、吸水性高分子および液体と反応して芳香臭を発する香料を挟み込んだのである。

【0007】**【作用】**

以上のように構成されたシートは、従来品と同様に、透水性シートから透過した尿が、吸水紙および吸水性高分子によって保水されかつ拡散が防止されると共

に脱臭剤によってある程度の悪臭が除去され、防水性シートによって尿の漏れが完全に阻止される。

【0008】

このとき、同時に吸水紙間に挟み込まれた香料が尿と反応して芳香臭を発散し、脱臭剤によって除去しきれなかった悪臭を消臭する。

【0009】

【実施例】

以下、実施例について図面を参照して説明する。

図1および図2に示すように、このトイレ用シートは、上面が不織布11、下面が合成樹脂シート12によって形成された平袋10と、この平袋10内に収容される5層状の吸水紙21とから成る。

【0010】

前記吸水紙21の第1層と第2層との間には、図3に示すように、水を吸収してゲル化する吸水性高分子23、脱臭剤24および水溶性で液体に反応して芳香臭を発散する香料25が混合された保水層22が挟み込まれている。

【0011】

前記香料25は、図4に示すように、二酸化珪素等の珪酸塩類で形成された多数の細孔を有するマイクロカプセル25a内に充填されており、このマイクロカプセル25aの細孔を通して尿の侵入および芳香臭の発散が行われる。従って、マイクロカプセル25aの細孔径を調整することにより、芳香臭の発散量を調整することができる。

【0012】

以上のように構成されたシートにペットが排尿を行うと、不織布11から透過した尿は、吸水紙21によって吸水されると共に吸水性高分子23が吸収してゲル化し、固定される。

【0013】

これによって、尿の平面的な拡散が抑えられ、シートの有効利用を図ることができる。なお、犬等のペットは、自分が排尿した所に近寄りたがらないという性質があるため、尿の拡散を防止することは、このような点においても重要である。

。

【0014】

また、これと同時に、アンモニア臭等の悪臭が脱臭剤24によってある程度除去され、さらに香料25が尿に反応して芳香臭を発散し、脱臭剤24で処理しきれなかった悪臭が消臭される。

【0015】

なお、前記平袋10は、上面が透水性を有し、下面が防水性を有するものであれば、例示の不織布11や合成樹脂シート12である必要はない。

また、吸水性高分子としては、澱粉にアクリル酸をグラフト重合した澱粉系、カルボキシセルロースにアクリル酸塩をグラフト重合したセルロース系、他アクリル酸・ビニルアルコール共重合体、アクリル酸重合体等の合成ポリマー系等を適宜選択して使用すればよい。

【0016】

さらに、吸水紙21は、少なくとも2層状であればよく、尿の平面的な拡散を考慮して、必要枚数を重ね合わせればよい。

【0017】

【効果】

以上のように、この考案のシートは、脱臭剤によって除去し得なかった悪臭を、液体と反応して芳香臭を発散する香料により消臭するようにしたため、シート自体の防臭効果が向上し、ベットの排尿による不快感をほとんど取り除くことができる。

【0018】

また、芳香臭は、ベットの排尿時にだけ発散されるので、時間の経過によって消臭効果が低下することもなく、また、常時室内に芳香臭が漂うことがないので逆に芳香臭による不快感もなく、非常に快適である。